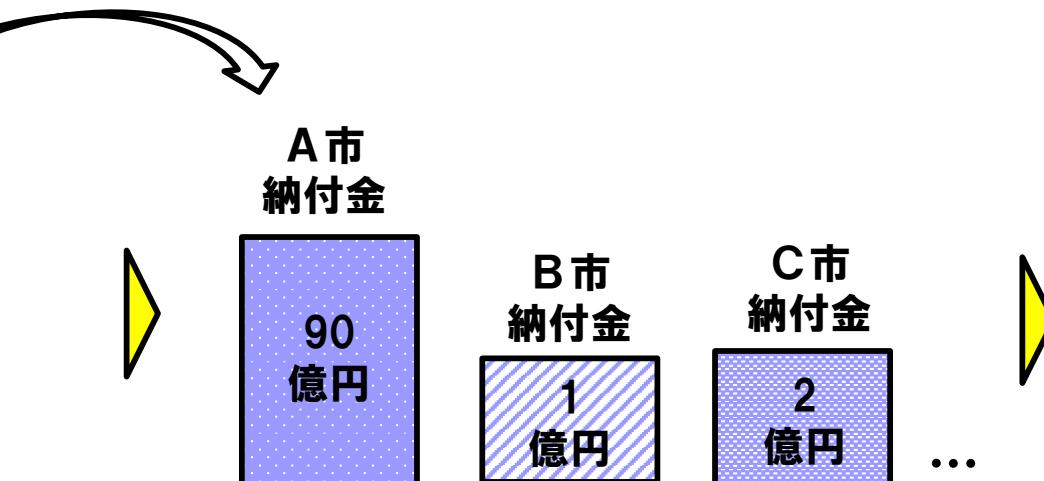


# 納付金・市町村標準保険料率算定のイメージ

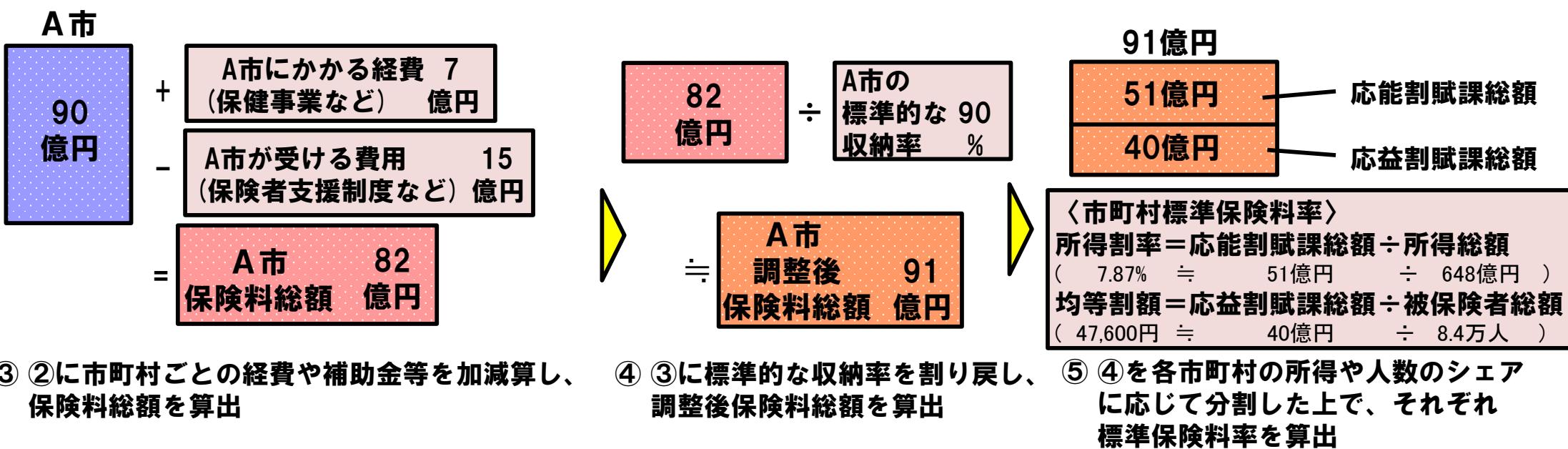
令和7年度第2回  
千葉県国民健康保険運営協議会  
資料1-10

保険給付費（医療分） 県総額：3,732億円		
前期高齢者交付金	公費等	納付金算定基礎額
1,569 億円	1,105 億円	1,058 億円



① 保険給付費から前期高齢者交付金や公費等を控除して  
納付金算定基礎額を算定。

② ①を所得や人数のシェア、医療費水準に応じて  
各市町村に配分し、各市町村の納付金を算定。



# 納付金の各市町村への配分イメージ（上記②の配分方法）

$$c = C \times \{ 1 + \alpha \cdot (\text{年齢調整後の医療費指数} - 1) \} \\ \times \{ \beta \cdot (\text{所得のシェア}) + (\text{人数のシェア}) \} / (1 + \beta) \\ \times \gamma$$

c : 各市町村ごとの納付金基礎額

C : 納付金算定基礎額

$\alpha$  : 医療費指数反映係数 ( $0 \leq \alpha \leq 1$ )

$\beta$  : 全国平均と比較した県の所得水準（全国平均のとき  $\beta = 1$ ）

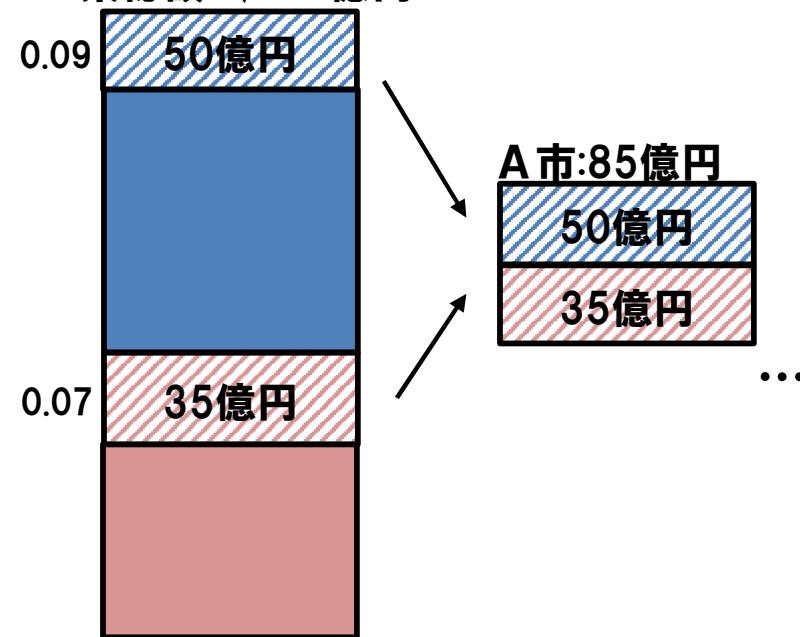
$\gamma$  : 総額をCに合わせるための調整係数

	県	A市	...
所得総額 (シェア)	7,268億円 (1)	654億円 (0.09)	
人数 (シェア)	105万人 (1)	7.3万人 (0.07)	
年齢調整後の 医療費指数	0.92	0.93	

県総額: 1,058億円

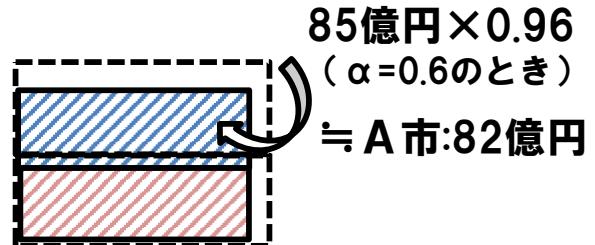


県総額: 1,058億円

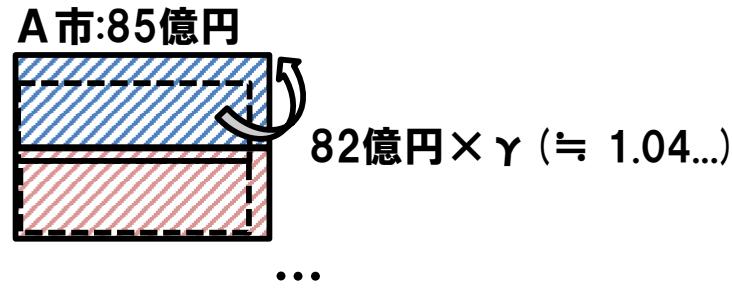


① Cを  $\beta:1$  に配分  
例)  $\beta = 1.12$

② ①のうち、応能分を所得のシェア、  
応益分を人数のシェアに応じて各市町村に配分



③ ②に  $\{ 1 + \alpha \cdot (\text{年齢調整後の医療費指数} - 1) \}$  を乗算



④ ③の各市町村合計がC (1,058億円) と等しくなるよう、全市町村の③に  $\gamma$  を乗算